

私これではじめました！

地域で市民活動をしている人たちの「はじめの一步」を紹介するコーナーです。
今回紹介する方々はどのようなきっかけで活動を始めたのでしょうか…。
3人の方に伺いました。

◆友達に誘われて

竹内 貞子

No.19

20数年前のまだ若かりし頃、友達から『栄町を愛する女性の会』というのが出来たらいいよと聞きました。「昔の婦人会のようなものかしら？老後になったら入ってみようか」等と話していました。数年後、別の人から会に入らないかと誘われ、まだ現役で仕事をしていたが入ることにしました。勤めている間は活動もあまりできず、休みが取れた時だけ参加するような状態でした。

月日は流れ年の経過とともに活動も徐々に増え役員も経験したり、いつの間にか会長を引き受けることになってしまいました。

「ラブさかえ」の愛称で親しまれ、昨年は設立20周年を迎えました。又町制60周年記念として自治功労賞を頂きました。これも歴代の会長さんはじめ会員全員の努力と協力が実を結んだもので、正に『継続は力なり』ですね。この会に入って一番良かったことは地域のみなさんとお知り合いになれたことです。このご縁を大切にしたいと思っています。



◆音楽で笑顔あふれる街に

山田 竜末

No.20

言葉なんか解らなくても、どんな人とも一緒に楽しくなれる、それが音楽です。声を出して唄を歌う。楽器を持って音を奏でる。それだけでいろいろな人と楽しくなれる。楽しい唄を聴くと、どんな人でも楽しい気分になり、勇ましい曲を聴くと、どんな人も勇気が湧いてきます。

私は、そんな音楽でこの栄町を活気に満ちた笑顔あふれる街にしたいと思いました。メディアを賑やかするような演奏はできないかもしれませんが、私たちの演奏を聴きに來られた皆さんが、私のバンドメンバーが楽しく演奏する姿を見て、聴いてニコニコ笑顔で楽しい気分になってもらえるような演奏パフォーマンス集団を作ろうと思い、栄町吹奏楽団「ドラムウィンドアンサンブル」を立ち上げました。幸いにも私のこの思いに賛同してくれる若いメンバーが集まりバンドは大きく育っています。

彼ら彼女たちの演奏者としての成長を見守るのも私の大切な楽しみになっています。

《音楽》はどんな人とも語り合える唯一の世界共通語



◆子ども達の交通指導から

秋山 優子

No.21

私が40歳のころの事でしようか？仕事も子育ても一段落をし、ふと自分はこれでいいのか、もっと社会と通じていたい、社会の一員として何かしたいと思う様になったのです。

自分が何か取り残されているような感じがしている時に声がかかったのが交通安全協会でした。団体に入った方が役に立つと思ったからです。地区に男女各1名ずつ必要で主な仕事は交通安全の普及啓発活動や街頭監視等でした。その頃腹話術による子ども達の交通指導が盛んになり、私は婦人警官によるマンツーマン指導を受け、県大会で準優勝になりました。その後交通安全の話をするために保育園や幼稚園、小学校にしんちゃん（腹話術の人形）と共にまわりました。今でもその時の子ども達の笑顔と真剣な態度は忘れられません。

この活動がきっかけで地域のことをより考えることになり、商工会女性部や他の活動にも今まで以上に取り組むことになり、忙しくも充実した毎日を送っています。

